

主要施策10 学校における子どもたちの運動・スポーツ習慣の形成

4年度当初 5,453千円
(3年度当初 48,355千円)

【基本的な考え方】

すべての子どもたちが、運動やスポーツの意義や価値等を理解し、関心をもつことで主体的に運動やスポーツに参画（「する」「みる」「支える」「知る」等）できるようにするとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを本県の子どもたちに継承する「かながわらしいオリンピック・パラリンピック教育の推進を図る。

1 子ども☆キラキラプロジェクトの推進

運動やスポーツの意義や価値等に触れ、運動に進んで取り組む態度を育み、児童・生徒の「体力・運動能力の向上」「運動習慣の確立」「生活習慣の改善」を図ることで、子どもの時から未病を改善する基礎を作る。

【主な取組】

- 子どもの健康・体力づくり実践研究委託事業
市町村立幼稚園、市町村立小・中学校及び県立高校に健康・体力づくりに係る取組の実践研究を委託する。
- 子どもの健康・体力づくり推進フォーラム事業
子どもの健康・体力づくり施策を理解し、学校等の実情に応じて健康・体力づくりに取り組むことができるよう、フォーラムを開催する。
- 体力向上キャラバン隊派遣事業等
県指導主事による体力向上キャラバン隊の市町村立小学校及び中学校（政令市・中核市を除く）への派遣を継続するとともに、体力向上に係る指導方法を工夫・改善する。
- 新** 児童期からの運動習慣形成事業
「みんなで遊ぼう！わくわく先生派遣事業」として小学校における体育の授業をサポートし、放課後等の運動遊び教室を開催する。
- 運動習慣カードの作成・ホームページ掲載
児童一人ひとりが自己の運動実施状況が確認できるカードを作成し、教育局指導部保健体育課ホームページに掲載する。

5,453千円
※

※ うち4,903千円はスポーツ局スポーツ課にて予算計上



運動習慣カード

2 改訂したかながわオリンピック・パラリンピック教育学習教材の活用

<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）が終了し、本県の子どもたちに東京2020大会で得た様々な様子をレガシーとして残すため、オリンピック・パラリンピック教育学習教材を各学校で活用して指導する。</p>	<p>(ゼロ予算事業)</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------

かながわオリンピック・パラリンピック教育学習教材



「学習教材」の特徴

本県では、2020年に開催される第32回オリンピック競技大会（2020/東京）・東京2020パラリンピック競技大会を契機に、本県の子どもたちがスポーツへの関心を高め、「する、みる、支える、知る」などのスポーツとの多様な関わり方を楽しめるようになることや、多様な国や地域の文化の理解を通じて、多様性の尊重や国際平和に寄与する態度を身に付けることなどができるよう、「かながわ」らしいオリンピック・パラリンピック教育を推進することとしました。

本教材は、「かながわ」のオリンピック・パラリンピックの歴史や、東京2020大会に向けた本県ならではの施策や取組などを通して、オリンピック・パラリンピックがもつ教育的価値を学ぶことを目的としています。

1 指導資料

本教材は、先生方がオリンピック・パラリンピックを題材に授業を進める際に、知っていると役に立つ「豆知識」を、指導資料として項目ごとに掲載しています。

2 指導ポイント

先生方が、指導資料を活用して授業を行う際に、児童生徒が興味をもち、自ら考え、理解を深めることができる発問と指導ポイントを、参考として掲載しています。

3 ワークシート

指導ポイントで示した発問等について、児童生徒が自ら考え、理解を深めることができる手助けとして、ワークシート1～3を掲載しています。児童生徒の状況